

市民サービスの

ターミナル化構想

第1弾

新たな図書館網を再構築

寝屋川市駅前に 図書館機能を再構築

市総合センターの閉館に伴い、市民サービスの分散化及び機能縮小を余儀なくされたところですが、将来の市民サービスの在り方などを見据え、ターミナル化構想第1弾としてアドバンス1号館4階に図書館を新たに令和3年度に開設することを目指します。

ターミナル化構想とは

市民の利便性を最優先とするため、公共施設・機能・サービスを公共交通機関の結節点である駅周辺に集約していくまちづくり

最小のコスト・最短の期間で

利便性UP! ↑

総合センターを

再利用した場合

アスベスト除去
躯体耐震診断など

約**45**億円
(4年6か月)

同規模で建て替えた場合

新築工事など

約**89**億円
(5年6か月)

アドバンスねやがわ1号館に移転した場合

4・5階、地下2階の床取得費
4階部分(図書館)の整備費、図書購入費など

約**6.5**億円
(1年2か月)

市内27か所の郵便局と連携

CS シティ・ステーション
〒 郵便局 と 図書館 窓 窓口

市民サービスのターミナル化へ!

平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震の影響で、中央図書館・中央公民館・福祉事務所などの機能を担っていた市総合センターは閉館しています。市民の皆さんにはご不便をおかけしています。



▲大阪府北部地震発生時の中央図書館の様子

市総合センターの今後の方向性について検討を重ねた結果、令和3年、寝屋川市が市制70周年を迎える大きな節目の年に、中央図書館は市民一人一人が自分の「時間」「居場所」「思い出」を作ることができる空間を目指した新たな図書館へと生まれ変わります。

市総合センターの今後の方向性について検討を重ねた結果、令和3年、寝屋川市が市制70周年を迎える大きな節目の年に、中央図書館は市民一人一人が自分の「時間」「居場所」「思い出」を作ることができる空間を目指した新たな図書館へと生まれ変わります。

☎ 中央図書館臨時図書室 (☎838・0141)

10月
スタート!

郵便局でも図書の受け取り・返却が可能に!

図書の配送事業スタート!

インターネットなどで予約した図書を市内27か所の郵便局や4か所のシティ・ステーションで受け取り・返却ができるようになります。

9月中旬(予定)

窓口で利用登録

9月下旬(予定)

図書の予約

10月1日(木)から

図書の受け取り・返却

図書の予約

インターネット 電話



窓口(7か所)*

図書の受け取り・返却

NEW



〒 郵便局 (27か所)

NEW



CS シティ・ステーション (4か所)



窓 窓口(7か所)*

*中央図書館臨時図書室、東図書館、駅前図書館、東北分室、西北分室、西南分室、南分室

市総合センターのあり方(中央公民館の市民サービス機能など)

閉館中の中央公民館の市民サービス機能などの再構築については、寝屋川市駅前(アドバンスねやがわ1号館5階)に設置予定で、更なるターミナル化を図っていきます。

また、令和3年秋頃から、アスベスト問題などについて十分な対策を行った上で、市総合センターの解体作業を行います。市総合センターの跡地利用については、駐車場に加え様々な活用を検討します。



令和3年
8月(予定)

ちよこつと

新しい図書館 紹介

おとな図書館

駅前の立地をいかし、学生の学びの場や憩いの場として、また、シルバー世代や働く世代など日常的に図書館に通いにくい人たちが自分の「時間」と「居場所」を求め、毎日行きたくなるような、これまでの図書館のイメージを一新する落ち着いた空間の創出に向けた取り組みを進めます。



無料
wi-fi

カフェ
スペースも!

市民一人一人が
「時間」「居場所」「思い出」を作れる場所

司書さん インタビュー

図書館の主役はやっぱり本。寝屋川市の図書館の蔵書はどんな思いで選ばれているのでしょうか。2人の司書に話を聞きました。



「図書館司書」
坂口 陽子さん

—— 普段の仕事は
18歳以下向けの児童サービスと障害者サービスを担当しています。

—— 本を手にとってもらうための工夫は
季節や流行などで展示する「本展」を企画しています。が、ビブリア(図書)川柳で30冊を紹介することがあります。例えば朝井まかてさんの「恋歌」なら、「想い出す



「学校司書」
文六 陽子さん

—— 普段の仕事は
寝屋川市の学校司書として4年目で、小・中学校各2校を担当しています。

—— 魅力ややりがいを感じることは
返却に来た児童や生徒が「この本、すごく面白かったよ」と言ってくれたときに、やりがいを感じます。この子の一生を変えるよう

あの日あの時、あの恋を」というように。1冊に1首作りました。が、とても楽しかったです。—— 来年8月の図書館オープンに向けての意気込みを
図書館を利用したことがない人は意外に多く、これを機に、レファレンス機能をさらに充実させたい。そして活字離れが言われている若い人をはじめ多くの市民が足を運んでもらえるようパイプ役として頑張りたい。

※レファレンス機能：図書館の資料を使い、調べものをサポートするサービス。

な本との出会いになったかなあと思いつきながら仕事をしています。

—— 寝屋川市の学校図書館のアピールポイントは
「子どもたちのために図書館をよくしよう」という先生や司書の熱意でしょうか。学校図書館には様々な形があり、「これがいい」という正解はありません。その中で研修会を通して一懸念考え、中央図書館とも連携して取り組んでいます。

～夏休みだから 本 を読もう～

ねやがわPR大使である芥川賞作家の又吉直樹さんと直木賞作家の門井慶喜さん。本と言えばこの人！なお二人に、この夏オススメの一冊をご紹介します。

『窓ぎわのトットちゃん』 黒柳徹子(講談社青い鳥文庫)

トットちゃんが通っていた小学校「トモエ学園」では教室が電車だった。校庭に6台ならんでいて、1学年につき1台。トットちゃんたち1年生は9人だけ。

教室には決まった席はなかったし、時間割もなかった。女の先生は毎朝黒板に1日ぶんの問題を書いて「好きなからやりなさい」。戦前の日本に実在した自由教育下の逸話のかずかずは何度読んでも心打たれます。全年齢対象の名作。



門井 慶喜さん 寝屋川市在住
昭和46年11月2日生まれ
(直木賞作家)

『銀河鉄道の父』 直木賞受賞

作家・宮沢賢治の父の人生を描いた作品。時代を超えた「父と子」の関係は、涙なしには読めません。子育て世代必見です。



『滑走路』 萩原慎一郎(KADOKAWA)

萩原さんの短歌には、人のノドを実際に通って発せられた肉声のような生々しさがあります。もちろん歌人としての技にも感動しますが、その短歌から自然とこぼれ落ちる、優しさや温もりに触れたくて、私はこの歌集を何度もひらきました。「いつか、こうなりたい」と願う場所に最初から到達できている人なんてほとんどいません。誰もが、その目標や目的地までの道のりがあります。『滑走路』はそんな全ての人々に優しく寄り添ってくれる歌集です。



又吉 直樹さん 寝屋川市出身
昭和55年6月2日生まれ
(お笑い芸人・芥川賞作家)

『火花』 芥川賞受賞

2人の芸人人生を描いた小説デビュー作。奇想天外な展開を通し、「笑いと」「人とは」を問う話題の一冊です。



市オススメ

こども図書館

駅直結という立地を最大限活用し、こども図書館としての専門機能に加え、子育て世代の保護者のニーズに寄り添う各種施策を実施予定です。遊び心のあるインテリアで、親子同士が交流できるスペースを設けるなど、子育て世代の居場所としてゆっくり過ごすことができ、明るくて居心地のよい、何度も行きたくなるような空間の創出に向けた取り組みを進めます。



読書×寝屋川方式

子どもたちの「考える力」を育みます

教育の基本となる「考える力」を育むため、市では「寝屋川方式」の一つとしてディベート教育を導入しました。たくさんの本を読み、多くの情報から必要なものを選択することによって、ディベート能力の向上につながり、「考える力」が養われると考えています。学校図書館への図書の配送など、図書館をもっと身近に、もっと充実させて、「寝屋川だからできる」教育を目指します。

たくましく生き抜く力



3

学力・体力向上策

NEW 2

学習習慣・ティーチング

NEW 1

「考える力」を育む
ディベート教育 など